



高井戸小の歴史を感じて

副校長 棗 まゆみ

高井戸小学校は、今年147周年を迎えます。

10月4日は高井戸小学校の開校記念日です。高井戸の地域や学校の歴史について、140周年の記念誌（副読本）から少しですが紹介いたします。

1875（明治8）年に杉並区に4つの学校ができました。その頃は学校を建てることは難しかったので、それまで寺子屋として使われていたお寺を新しい学校として使っていたそうです。上高井戸にある医王寺が「高泉学校」。宮前にある慈宏寺が「郊西学校」。この2校がその年の10月4日に認可されたことから、高井戸小学校の開校記念日は、10月4日と定められています。

1891（明治24）年にこの2校が一つになり、今の高井戸小学校の場所に、高井戸尋常小学校が建てられました。高井戸村の中央部に位置し、住所は「豊多摩郡高井戸村字正用二〇五八番地」。児童数140人、先生3人の学校だったそうです。また、学校ができたころ、学校の周りには杉林がたくさんあり、畑や田んぼの中に、ぽつんぽつんと家が建っているだけで外灯もなかったそうです。夜道を歩くときは、上を向いて杉林の切れ間をたどりながら歩いたそうです。

明治から大正にかけて児童数が増えたため、新しい学校がつけられました。それでも児童数が多かったので、二部授業が行われました。

昭和35年には高井戸駅の南に集合住宅ができ、児童数は1300人余りにもなりました。昭和39年の校舎の建て替えと共に新しい学校もでき、350人の子供たちが新しい学校に分かれていきました。

昭和57年には、ことばときこえの教室（けやき学級）もできました。同じ年に、杉並清掃工場も完成しました。学校の周辺には大きな集合住宅やスーパーマーケットがつぎつぎと建っていったそうです。平成20年に現在の校舎が完成。平成22年には体育館、平成23年には芝生の校庭が完成しました。

校歌や校章も現在のものと古いものがあり、歴史を感じます。



古い校章



新しい校章

大正時代の写真

にも掲載されている「高井戸學校」の看板を、今でも見ることができます（児童玄関にあります）。地域とともに歴史と伝統を積み重ねてきた高井戸小学校。今を生きる子供たちが歴史を学ぶことを通して、高井戸地域や高井戸小を愛する気持ちをもてるようにしていきたいです。そして、子供たちが歴史と伝統を引き継ぎ、よりよい社会をつくり、幸せを感じられるように、教職員一同、力を合わせて教育活動に今後も取り組んでまいります。

10月の生活目標「友達と仲良く遊ぼう」

生活指導部

高井戸小学校は、「学校に来るのが楽しい」と思える学校を目指し、「相手を思いやって行動できる心」を育てています。どの学級でも、互いの思いを上手に伝えられるよい関係を築き、楽しい学校生活を過ごすことができるよう、子供たちの《心》を大切に様々な活動を行っています。

10月は過ごしやすい気候が続きます。外遊びのできる日は、友達と声をかけ合って、遊んでほしいと思います。外の新鮮な空気の中で過ごすことは、身体にとってもよく、友達と関わり合うことによりコミュニケーション能力も培われます。土ゾーンも上手に使い、友達と譲り合いながら、心も体も鍛えてほしいと願っています。また、図書館で読書をすることもできます。「スポーツの秋」「読書の秋」「食欲の秋」「芸術の秋」……。自分にとっての秋を是非見つけて、「心豊かな実りの秋」になるように、学校でも子供たちを応援していきます。

朝と夕方、天気が変わりやすい季節です。置き傘を学校に置いていくようにお声かけください。